

金山第一トンネルの安全祈願祭が 挙行されました



▲安全祈願祭の様子

国道13号新庄金山道路金山第一トンネルの工事着手に伴い、12月8日に荒屋地区内のトンネル工事現場で安全祈願祭が挙行されました。式典は、桜本宮司(七日町)のお祓いのもと、工事関係者が参列する中、工事の安全・無事故を祈願しました。工事請負業者である飛島建設株式会社を代表して山上執行役員・東北支店長が、「無事故で安全・安心な高品質のトンネルを完成します」と、工事を行うにあたっての意気込みを語られました。

神室スキー場営業に向け結団式 皆様のご利用をお待ちしています！



▲従業員一同、安全で安心なスキー場運営に取り組みます

12月1日、役場町民ホールにおいて、スキー場従業員の結団式が開催されました。今シーズンの神室スキー場は、土日・祝日・年末年始のみ(12月29日から1月8日)、10時から18時まで営業します。リフトを降りるとグリーンバレーの美しいロケーションが広がり、ファミリーから上級者まで楽しめる幅広いコースとなっております。さらにグリーンバレー神室エリアには、ホテルシェーネスハイム金山やホットハウスカムロ、神室キャンプ場、セラピーファームめぐたま、遊学の森等もありますので併せて是非ご利用をお待ちしています。

4年ぶりに羽場地区餅つき交流会を開催！ 賑やかな交流会となりました



▲餅つき交流会には45名が参加しました

11月26日、新型コロナウイルスの影響で開催出来なかった餅つき交流会が4年ぶりに開催されました。羽場地区公民館に集まった子ども達やお父さん方が石臼と杵でお餅をつき、お母さんが雑煮、あんこ、納豆、きな粉、くるみと種類豊富なお餅をつくりました。子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまで地区の人達みんなで美味しくいただきました。いろいろな味のお餅を楽しみながら話にも花が咲き、お腹も満足。とても賑やかな餅つき交流会となりました。

かねやま未来会議を開催！ 今後のまちづくりについて意見交換が行われました



▲かねやま未来会議を開催し、町長と意見交換

11月13日、「かねやま未来会議」が役場で開催されました。町内事業所・団体から推薦のあった17名の委員から、町総合発展計画や国補助金事業の評価として、アンケート調査に事前協力をいただきました。また、仕事や金山に暮らして感じていること、今後のまちづくりへの要望等が佐藤町長と意見交換が行われました。委員から「町内企業をもっと知って地元就職してほしい」「若い世代が意見交換する機会があればいい」「子育て世代の遊具や住宅があればいい」など意見が出ていました。詳しい内容は、町ホームページに公表しています。

小向達之さんが教育委員に 再任されました



▲12月11日、町長室において佐藤町長からご本人へ辞令が交付された

任期満了に伴い、小向達之こむかいたつゆきさん(桧台)が、12月議会定例会で議会の同意を得て、町教育委員に再任されました。二期目にあたり、小向さんは「引き続き、教育委員として、また、保護者の一人として他の委員と共に教育の力になりたい」と意気込みを語りました。任期は令和9年12月10日までの4年間です。なお、小向さんは、町の教育委員を代表して最上広域市町村圏事務組合教育委員にも就任しております。

谷口地区に県土づくりに関する 感謝状が贈呈されました



▲谷口区長 笹原祐一さん(左)

12月11日、山形県の県土づくりに関する感謝状贈呈式が山形県庁で行われました。この感謝状は、山形県が所管する公共土木施設の利用環境の改善や安全性の向上に関し、著しい功績のあった団体及び個人に対し贈呈しているものです。この度、県道の維持管理に関する活動実績が10年以上である谷口地区たにぐちが、感謝状の贈呈に該当する団体として選ばれ、笹原祐一ささはらゆういち区長が県知事より、感謝状を贈呈されました。この度贈呈された団体に対し、知事からは「これからも地域の重要な担い手としてご活躍されますようお願い申し上げます」との挨拶が述べられました。

秋の褒章「藍綬褒章」 元町防犯協会副会長の丹潔さんが受章



▲藍綬褒章を受章された丹潔さん(左)

公共の福祉に尽力された人に授与される「藍綬褒章」を丹潔たんきよしさん(内町)が受章されました。丹さんは、約40年にわたり町防犯協会の活動に携わり、地域のために尽力されました。車上荒らし撲滅に向けた無施設車両の調査や、青少年の非行防止・健全育成活動などの功労が大きく評価されました。平成15年からは同協会の副会長に就くほか、平成6年に結成された防犯ボランティア団体「町交番地域安全連絡協議会」には結成当時から参加するなど幅広く防犯活動を行ってこられました。このたびの受章誠におめでとうございます！

除雪安全祈願を実施 今年度も冬の安全を守ります



▲20名の除雪作業員が、丁寧な除雪を行います

除雪作業班安全祈願祭を12月1日、町除雪ステーション(朴山)で行い、班員20名と町関係者がシーズン中の作業の安全を祈願しました。今井正人いまい まさと班長(安沢)が「除雪作業の重要性を充分認識し、安全で安心な道路環境を確保するため体調管理に留意し、交通規則を遵守して作業に努める」と意気込みを語りました。続けて佐藤町長が「報告・連絡・相談を大切にし、環境整備課との連携を図りながら、安全で事故の無いように作業に取り組んでほしい」と激励しました。